職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年			長名		60-0063	所在地				
吉田学園医療歯科	専門学校	平成19年3月	27日	吉田	克彦		记幌市中央区南3条 11-272-3030	:西1丁目11-1				
設置者名		設立認可年月日 代表者名										
学校法人吉田	学園	昭和53年10月	31日	吉田 祐樹		樹 (住所) 北海道札幌市中央区南3条西		区南3条西1丁目15番:	西1丁目15番地			
分野		忍定課程名		認定学科名	3		11-272-6070 士認定年度	高度専門士認定	2年度	職業実践専	厚門課程認定年度	
医療		専門課程		歯科技工学			20(2008)年度	-			!7(2015)年度	
学科の目的	本学科は、 る。	社会における医療体	制を充実させ	せ、地域社会	に貢献するた	とめに、豊かな	な教養及び専門的な知	知識と技術を備えた優々	れた医療従	事者を育成す	けることを目的とす	
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	歯科技工士 令和6年度	上 国家試験 受験資 中退率:13.33%	格									
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要	要な総授業時 位数	特数又は総	講弟	É	演習	実習	実	験	実技	
2	昼間	※単位時間、単位いずれ かに記入	` 	単位時間単位		単位時間単位	46 単位時間 - 単位	1,510 単位時間 - 単位		単位時間単位	0 単位時間	
生徒総定員	生徒実	€員(A) 留学生	と数 (生徒実員の		留学生割食		中退率	+ in			+ #	
70 人	19	Α	0	,	0	%	0 %					
	■卒業者	数(C)		6		人						
	■就職希 ■就職者	望者数 (D) 数 (E)		6 6								
	■地元就	職者数(F)		2		人						
	■就職率	(E/D) に占める地元就職者	の割合 / ⊑ / ⊑	100		%						
				33		%						
	■卒業者に	こ占める就職者の割っ	合(E/C)	100	·	06						
就職等の状況	■進学者	数		0		<u>%</u> 人						
赤蝦寺の 状沈	■その他											
	(令和 ■ + + > 		者に関する令	和7年5月1	日時点の情報	1)						
	● 土 な 別 に (令和6年度	職先、業界等 ※***										
	歯科技工											
		評価機関等から第3	三者評価:				無					
第三者による	■民間の	評価機関等から第3 、例えば以下について					無					
第三者による 学校評価	■民間の ※有の場合	、例えば以下について			受審年目:	_	評	平価結果を掲載した	_			
学校評価	■民間の ※有の場合				受審年月:	-	評	F価結果を掲載した SームページURL	-			
学校評価 当該学科の	■民間の ※有の場合	、例えば以下について付評価団体: -	壬意記載		受審年月:	-	評	F価結果を掲載した ームページURL	-			
学校評価	■民間の ※有の場合	、例えば以下について	壬意記載		受審年月:	-	評	で価結果を掲載した ームページURL	-			
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://yc	、例えば以下について 評価団体: – oshida-iryoshika.jp/	壬意記載		受審年月:	-	評	F価結果を掲載した ームページURL	-			
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://yc	、例えば以下について付評価団体: -	壬意記載		受審年月:	-	評	F価結果を掲載した ームページURL	1, 960	単位時間		
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://yc	、例えば以下について 評価団体: - pshida-iryoshika.jp/ 時間による算定) 総授業時数	壬意記載 shika-giko/	実験・実習			評	F価結果を掲載した ームページURL		単位時間単位時間		
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://yc	、例えば以下について 評価団体: - pshida-iryoshika.jp/ に時間による算定) 総授業時数 うち企業	王意記載 shika-giko/ 等と連携した	実験・実習	・実技の授業		評	P価結果を掲載した ームページURL	240			
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://yc	、例えば以下について 評価団体: - pshida-iryoshika,jp/ 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	王意記載 shika-giko/ 等と連携した		・実技の授業		評	P価結果を掲載した ームページURL	240	単位時間		
学校評価 <u>当該学科の</u> ホームページ	■民間の ※有の場合 https://yc	、例えば以下について 評価団体: - pshida-iryoshika,jp/ 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	王意記載 shika-giko/ 等と連携した 授業時数	≟演習の授業師	・実技の授業	時数	辞本	P価結果を掲載した ームページURL	0 . 1, 960	単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://yc	、例えば以下について 評価団体: - pshida-iryoshika,jp/ 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	王意記載 shika-giko/ 等と連携した 等と連携した 授業時数 うち企業等	よ演習の授業時 ・演習の授業時 ・演習の授業時 ・演習の授業時 ・演習の授業時 ・演習の授業時 ・演習の授業時 ・演習の授業時 ・演習の授業時 ・演習の授業時 ・演習の授業時 ・変数を表する。 ・変を表する。 ・変を、 ・変を表する。 ・変を表する。 ・変を表する。 ・変を表する。 ・変を表する。 ・変を表する。 ・変を表する。 ・変を表する。 ・変を、 ・変ををををを、 ・変ををををををを、 ・変をををををををををををををををををををををををををををををををををををを	・実技の授業 時数 必修の実験・	時数 実習・実技 <i>の</i>	辞本	P価結果を掲載した ームページURL	240 0 1, 960 240	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科の ホームページ URL	■民間の) ※有の場合 https://yc	MR(ば以下について 評価団体: - pshida-iryoshika.jp/ 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち必修	王意記載 shika-giko/ 等と連携した 授業時数 うち企業等 うち企業等	:演習の授業時 を連携した必 等と連携した必	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の	時数 実習・実技 <i>の</i> 授業時数	辞本	P価結果を掲載した ームページURL	240 0 1,960 240	単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科の ホームページ URL	■民間の ※有の場合 https://yc	MR(ば以下について 評価団体: - pshida-iryoshika.jp/ 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち必修	王意記載 shika-giko/ 等と連携した 授業時数 うち企業等 うち企業等	よ演習の授業時 ・演習の授業時 ・演習の授業時 ・演習の授業時 ・演習の授業時 ・演習の授業時 ・演習の授業時 ・演習の授業時 ・演習の授業時 ・演習の授業時 ・演習の授業時 ・変数を表する。 ・変を表する。 ・変を、 ・変を表する。 ・変を表する。 ・変を表する。 ・変を表する。 ・変を表する。 ・変を表する。 ・変を表する。 ・変を表する。 ・変を、 ・変ををををを、 ・変ををををををを、 ・変をををををををををををををををををををををををををををををををををををを	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の	時数 実習・実技 <i>の</i> 授業時数	辞本	P価結果を掲載した ームページURL	240 0 1,960 240	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をと連携失した況 (名、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://yc	MR(ば以下について 評価団体: - pshida-iryoshika.jp/ 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち必修	王意記載 shika-giko/ 等と連携した 授業時数 うち企業等 うち企業等	:演習の授業時 を連携した必 ほと連携した必	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の	時数 実習・実技 <i>の</i> 授業時数	辞本	P価結果を掲載した ームページURL	240 0 1,960 240	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した東習等の実施状況	■民間の ※有の場合 https://yc	、例えば以下について 評価団体: - pshida-iryoshika,jp/ 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企	王意記載 shika-giko/ 等と連携した 授業時数 うち企業等 うち企業等	:演習の授業時 を連携した必 ほと連携した必	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の	時数 実習・実技 <i>の</i> 授業時数	辞本	P価結果を掲載した ームページURL	240 0 1, 960 240 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をと連携失した況 (名、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://yc	 ・ 例えば以下について付評価団体: - pshida-iryoshika.jp/ 時間による算定) 終授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 	ま意記載 shika-giko/ 等と連携した 授業時数 うち企業等 うち企業等	上演習の授業即 を連携した必 を連携した必 たインターン	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の ンシップの授	時数 実習・実技 <i>の</i> 授業時数 業時数)	辞本	P価結果を掲載した ームページURL	240 0 1, 960 240 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をと連携失した況 (名、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://yc	(例えば以下について付	王意記載 shika-giko/ 等と連携した 接楽時数 うち企業等 うち企業等 まをと連携した	- 演習の授業的 を連携した必要と連携したが、 たインターン - 実験・実習	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の ンシップの授 ・実技の単位	時数 実習・実技 <i>の</i> 授業時数 業時数)	辞本	P価結果を掲載した ームページURL	240 0 1,960 240 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携失した況 (名、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://yc	(例えば以下について付	ま意記載 shika-giko/ 等と連携した 接楽時数 うち企業等 うち企業等と連携し 等と連携した	上演習の授業即 を連携した必 を連携した必 たインターン	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の ンシップの授 ・実技の単位	時数 実習・実技 <i>の</i> 授業時数 業時数)	辞本	P価結果を掲載した 一ムページURL	240 0 1,960 240 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携失した況 (名、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://yc	(例えば以下について付	ま記載 shika-giko/ 等と連携した 要と連携した 要素等と連携し うち企業等 うち企業等 よを連携した 等と連携した	演習の授業的 を連携した必 をと連携した必 たインターン 実験・実習 演習の単位数	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の ンシップの授 ・実技の単位 数	時数 実習・実技の 授業時数 業時数) 数	計 水 分授業時数	が価結果を掲載した 一ムページURL	240 0 1,960 240 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携失した況 (名、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://yc	(例えば以下について付	ま記載 shika-giko/ 等と連携した 等と連携した 授業時数 うち企業等 うち企業等 と連携した 等と連携した	演習の授業B を連携した必 を連携した必 たインターン 実験・実習 演習の単位数	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の ンシップの授 ・実技の単位 数	時数 実習・実技の 授業時数 業時数) 数 実習・実技の	計 水 分授業時数	P価結果を掲載した 一ムページURL	240 0 1,960 240 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をと連携失した況 (名、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://yc		ま記載 shika-giko/ 等と連携した 等と連携した 授業時数 うち企業等 うち企業 単位数 うち企業等 した ・ 単位数 っち企業等	演習の授業的 を連携した必要と連携した必要と を実験・実習を では、実験・実習を では、または、また。 では、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の ンシップの授 ・実技の単位 数 必修の実験・ 必修の実験・ 必修の実際・ 必修の実際・	時数 実習・実技の 授業時数 業時数) 数 実習・実技の 単位数	計 水 分授業時数	で価結果を掲載した ・・ムページURL	240 0 1,960 240 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位		
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携機した況のである。	■民間の ※有の場合 https://yc		ま記載 shika-giko/ 等と連携した 等と連携した 授業時数 うち企業等 うち企業 単位数 うち企業等 した ・ 単位数 っち企業等	演習の授業B を連携した必 を連携した必 たインターン 実験・実習 演習の単位数	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の ンシップの授 ・実技の単位 数 必修の実験・ 必修の実験・ 必修の実際・ 必修の実際・	時数 実習・実技の 授業時数 業時数) 数 実習・実技の 単位数	計 水 分授業時数	P価結果を掲載した ームページURL	240 0 1,960 240 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をと連携失した況 (名、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://yc		ま記載 shika-giko/ 等と連携した 等と連携した 授業時数 うち企業等 うち企業 単位数 うち企業等 した ・ 単位数 っち企業等	演習の授業的 を連携した必要と連携した必要と を実験・実習を では、実験・実習を では、または、また。 では、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の ンシップの授 ・実技の単位 数 必修の実験・ 必修の実験・ 必修の実際・ 必修の実際・	時数 実習・実技の 授業時数 業時数) 数 実習・実技の 単位数	計 水 分授業時数	P価結果を掲載した 一ムページURL	240 0 1,960 240 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位		
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をと連携失した況 (名、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://yc		ま記載 shika-giko/ 等と連携した 等と連携した 授業時数 うち企業 うち企連携した 等と連携した なっちを連携した 等と連携した 等と連携した 等と連携した 等と連携した 等等と連携した ま等等と連携した	演習の授業的 を連携した必要と連携した必要とをできた。 実験・実習の単位数 をと連携した必要と連携した必要と連携した必要と連携した必要とをできた。	・実技の授業時数 必修の実験・ 必修の演習の ンシップの授 ・実技の単位 数 必修の実験・ 必修の実験・ ンシップの単	時数 実習・実技の 授業時数 業時数) 数 実習・実技の 単位数	計 水 分授業時数	P価結果を掲載した 一ムページURL	240 0 1,960 240 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位		
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をと連携失した況 (名、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://yc		ま記載 shika-giko/ 等と連携した 接業時数 うち企業 うち企連携した を連携した うちを連携した まな企業 等とと連携した まな企業 等とと連携した まな企業 実等とを はなります。 まなどの まなでは、 まなどの まないでは、 まないできないでは、 まないでは、 まないでは、 まないでは、 まないでは、 まないでは、 まないでは、 まないできないできないできないできないできないできないできないできないできないでき	演習の授業的を連携した必要と連携した必要と連携した必要を連携した必要を連携した必要を実習の単位を表示を連携した必要を連携した必要を連携した必要を表示を表示した。	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必必をの演 での表	時数 実習・実技の 授業時数) 数 数 単位数 位数)	計 水 分授業時数	- A - VURL	240 0 1,960 240 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位		
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携失した況への表す。	■民間の ※有の場合 https://yc	(例えば以下について付	ま記載 shika-giko/ 等と連携した 接業時数 うち企業 うち企連携した を連携した うちを連携した まな企業 等とと連携した まな企業 等とと連携した まな企業 実等とを はなります。 まなどの まなでは、 まなどの まないでは、 まないできないでは、 まないでは、 まないでは、 まないでは、 まないでは、 まないでは、 まないでは、 まないできないできないできないできないできないできないできないできないできないでき	演習の授業的を連携した必要と連携した必要と連携した必要を連携した必要を連携した必要を実習の単位を表示を連携した必要を連携した必要を連携した必要を表示を表示した。	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必必をの演 での表	時数 実習・実技の 授業時数) 数 数 単位数 位数)	丹漢集時数	- A - VURL	240 0 1,960 240 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をと連携失した況 (名、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://yc	、例えば以下について 評価団体: - shida-iryoshika,jp/ 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業 うち必修 (うち企 である事件を表しませる。)	ま記載 shika-giko/ 等と連携した 等と連携した 変素等を企連携した うちを連携した うちを連携した なまります。 ままります。 ままりまする ままります。 ままりまする ままります。 ままりまする ままります。 ままりまする	演習の授業的を連携した必要と連携した必要と連携した必要を連携した必要を連携した必要を実習の単位を表示を連携した必要を連携した必要を連携した必要を表示を表示した。	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必必をの演 での表	時数 実習・実技の 授業時数) 数 数 単位数 位数)	評水 · · · · · · · · · · · · ·	マームページURL 「第1号)	240 0 1,960 240 0 0	単位時間 単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位 中単単位 中単単位 中単単位 中単位 中単位 中単位 中単位 中単位		
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をと連携失した況 (名、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://yc		ま記載 shika-giko/ 等と連携した 等と連携した 変素等を企連携した うちを連携した うちを連携した なまります。 ままります。 ままりまする ままります。 ままりまする ままります。 ままりまする ままります。 ままりまする	演習の授業的を連携した必要と連携した必要と連携した必要を連携した必要を連携した必要を実習の単位を表示を連携した必要を連携した必要を連携した必要を表示を表示した。	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必必をの演 での表	時数 実習・実技の 授業時数) 数 数 単位数 位数)	丹漢集時数	マームページURL 「第1号)	240 0 1,960 240 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等の以上、 に記入)	■民間の ※有の場合 https://yc (A:単位	、例えば以下について 評価団体: - shida-iryoshika,jp/ 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業 うち必修 (うち企 である事件を表しませる。)	ま記載 shika-giko/ 等と連携した そと連携した で等と連携した で等と連携した で等と連携した で等と連携した で等と連携した で等と連携した でする企業等 はいた でする企業等 はいた。 ないまする。 ないます	演習の授業的を連携した必要と連携した必要と連携した必要を連携した必要を連携した必要を実習の単位を表示を連携した必要を連携した必要を連携した必要を表示を表示した。	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必必をの演 での表	時数 実習・実技の 授業時数) 業時数) 数 数 単位数 (専修学材 (専修学材	評水 · · · · · · · · · · · · ·	(デームページURL) (第1号) (第2号)	240 0 1,960 240 0 0 - - - - - - 3	単位時間 単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位 中単単位 中単単位 中単単位 中単位 中単位 中単位 中単位 中単位		
学校評価 当該学科のホームページ URL と連集施ずれいに記入)	■民間の ※有の場合 https://yc (A:単位		ま記載 shika-giko/ 等と連携した 変楽等と連携した 変楽業等と連携した ううと連携した な変楽業はした ないないである。 ないでは、 ないで	演習の授業的を連携した必要と連携した必要と連携した必要を連携した必要を連携した必要を実習の単位を表示を連携した必要を連携した必要を連携した必要を表示を表示した。	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必必をの演 での表	時数 実習・実技の 業時数) 数 数 数 (専修学杉 (専修学杉	授業時数 授業時数)単位数 な設置基準第41条第1項	(デームページURL) (事) (事) (事) (事) (事)	240 0 1.960 0 0 0	単位時間 単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位 中間 単単位 中単位 中単位 中単単位 中単単位 中単 単単 単単 単 単 単 単		
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等の以上、 に記入)	■民間の ※有の場合 https://yc (A:単位		ま記載 shika-giko/ 等と連携した 変楽等と連携した 変楽業等と連携した ううと連携した な変楽業はした ないないである。 ないでは、 ないで	演習の授業的を連携した必要と連携した必要と連携した必要を連携した必要を連携した必要を実習の単位を表示を連携した必要を連携した必要を連携した必要を表示を表示した。	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必必をの演 での表	時数 実習・実技の 授業時数) 数 数 数 事位数 位数) (専修学材 (専修学材	授業時数 単位数 2 2 2 2 3 3 3 3 3 3 4 4 1 8 第 1 9 3 3 3 3 3 3 3 3 4 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	(デームページURL) (第1号) (第2号) (第3号) (第4号)	240 0 1,960 240 0 0 - - - - - 3 3	単位時間 単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 人人人人		
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等の実施がれかに記入)	■民間の ※有の場合 https://yc (A:単位		ま記載 shika-giko/ 等と連携した 変楽等と連携した 変楽業等と連携した ううと連携した な変楽業はした ないないである。 ないでは、 ないで	演習の授業的を連携した必要と連携した必要と連携した必要を連携した必要を連携した必要を実習の単位を表示を連携した必要を連携した必要を連携した必要を表示を表示した。	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必必をの演 での表	時数 実習・実技の 授業時数) 数 数 数 事位数 位数) (専修学材 (専修学材	授業時数)単位数)設置基準第41条第1項 2設置基準第41条第1項 2設置基準第41条第1項	(デームページURL) (第1号) (第2号) (第3号) (第4号)	240 0 1,960 240 0 0 	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 人 人 人 人 人 人 人 人 人		
学校評価 当該学科のホームページ URL と連集施ずれいに記入)	■民間の ※有の場合 https://yc (A:単位		ま記載 shika-giko/ 等と連携した 変楽等と連携した 変楽業等と連携した ううと連携した な変楽業はした ないないである。 ないでは、 ないで	演習の授業的を連携した必要と連携した必要と連携した必要を連携した必要を連携した必要を実習の単位を表示を連携した必要を連携した必要を連携した必要を表示を表示した。	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必必をの演 での表	時数 実習・実技の 授業時数) 数 数 数 事位数 位数) (専修学材 (専修学材	授業時数)単位数)設置基準第41条第1項 2設置基準第41条第1項 2設置基準第41条第1項	(デームページURL) (第1号) (第2号) (第3号) (第4号)	240 0 1,960 240 0 0 	単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 人 人 人 人 人 人 人 人		
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等の実施がれかに記入)	■民間の ※有の場合 https://yc (A:単位		ま記載 shika-giko/ 等とと連携した と連携場数 変 業 等 とと連携し ううちと 連携 したした 等等 単位 ううちと 連携 しした ま等等単位 ううちと 連携 できる 最 課に業 不 を を ま で と ま で で で で で で で で で で で で で で で で	演習の授業的を連携したない。 を連携したない。 を連携したない。 では、大インターン では、実験で、実質のが、またインターンで、またない。 では、大インターンである。 でもあった。 でもあった。 でもあった。 でもない。 をもない。 でもない。 をもなな、 をもない。 をもない。 をもない。 をもない。 をもない。 をもない。 をもなな、 をもない。 をもなな、 をもなな、	・実技の授業時数 必修の実験・図の シシップの授 ・教	時数 実習・実技の 授業時数) 数 実単位数) (専修学材 (専修学材 (専修学材	授業時数 単位数	(エームページURL (第1号) (第2号) (第3号) (第4号) (第5号)	240 0 1,960 240 0 0 	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 人 人 人 人 人 人 人 人 人		
学校評価 当該学科のホームページ URL を業等等の実施ずれた。に記入)	■民間の ※有の場合 https://yc (A:単位		E 記載 Shika-giko/ 等とと連携した と連携りた うちとと連携りた うちとと連携りた うちとと連携りた うちとと連携りた うちとと連携りた たた な変素 を企連携したた まで表する ないでは、 な	演習の授業的 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 であり、 であり、 であり、 であり、 であり、 でものでも、 でのが、 でいる。 では、 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。	・実技の授業時数 必修の実験・図の シシップの授 ・教	時数 実習・実技の 授業時数) 数 実単位数) (専修学材 (専修学材 (専修学材	授業時数)単位数)設置基準第41条第1項 2設置基準第41条第1項 2設置基準第41条第1項	(エームページURL (第1号) (第2号) (第3号) (第4号) (第5号)	240 0 1.960 240 0 0 - - - - - - 3 3	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 人 人 人 人 人 人 人 人 人		

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

歯科技工学科では、実践的かつ専門的な職業教育を実践する為、教育課程編成委員会による意見を尊重し、企業等との 連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、教育課程の編成(授業科目開設、授業内容・実施方法の改善・工夫等)等に 活かすことを基本方針とする。

- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
- 歯科技工学科の教育課程編成について協議・策定するための機関として設置する。
- ①学科の目的に基づき、現状での問題点や課題等を明確にしたうえで提言を求める。
- ②意見を参考に次年度以降の教育課程編成に関する改善案等を策定する。
- ③協議内容について、学則変更を伴う教育課程の変更については理事会の決議を経て反映される。
- また、シラバス・実習・演習に関する変更については校長の決裁を経て反映される。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年5月1日現在

夕 盐	1 足		月1日現住
名 前	所 属	任期	種別
籔本 秀彦	末廣屋電気株式会社 安全管理部 次長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	3
河合 一成	石狩北部地区消防事務組合 石狩消防署 警防課救急担当課長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	1
帰山 浩次	新札幌循環器病院 臨床工学科	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	3
加藤 宝貢	萬田記念病院 臨床工学 主任	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	3
沼田 友季子	萬田記念病院 視能訓練 主任	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	3
西山 季里子	北海道大学大学院医学研究院 眼科学教室 主任視能訓練士	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	3
八若 保孝	北海道大学大学院歯学研究院長 教授	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	2
堀口 純江	勤医協にしく歯科診療所 歯科衛生士 士長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	3
金子 博	株式会社モリタ 北海道支店 商品営業グループ リーダー	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	3
川口 淳	札幌龍谷学園高等学校 校長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	2
矢津田 剛	社会医療法人アルデバラン 手稲いなづみ病院 事務部事務次長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	3
早坂 光司	一般社団法人 北海道臨床衛生検査技師会 会長 北海道大学病院 検査·輸血部	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	1)
藤條 久貴	北海道和光純薬株式会社 営業一課 課長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	3
吉田 克彦	学校法人吉田学園 吉田学園医療歯科専門学校 校長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	_
三上 剛人	学校法人吉田学園 吉田学園医療歯科専門学校 副校長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	_
齊藤 勤	学校法人吉田学園 吉田学園医療歯科専門学校 副校長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	_
菩提寺 浩	学校法人吉田学園 吉田学園医療歯科専門学校 学科長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	_
本吉 竜浩	学校法人吉田学園 吉田学園医療歯科専門学校 学科長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	_

星直樹	学校法人吉田学園 吉田学園医療歯科専門学校 学科長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	_
四宮 敦志	学校法人吉田学園 吉田学園医療歯科専門学校 副学科長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	-
松本 崇嗣	学校法人吉田学園 吉田学園医療歯科専門学校 副学科長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	_
佐々木 英世	学校法人吉田学園 吉田学園医療歯科専門学校 副学科長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	_
熊谷 英幸	学校法人吉田学園 吉田学園医療歯科専門学校 副学科長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	_

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (8月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和7年8月28日 18:00~

第2回 令和8年2月27日 18:00~

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

前年度の各実績報告・現状の課題点を説明し、取り組みに対する意見や改善への提言を基に、新たな取り組みの必要性などに関する情報交換を行った。

・各実習、演習授業について、実践的な教育内容の充実、学生個々人のレベルに合わせ、きめ細かな教育体制が必要との提言を受け、将来性を見据えた教材選定を行うこととした。

- 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係
- (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実習依頼・承諾書等による連携を基本とし、実践的かつ即戦力となり得る技術習得を目指す為に連携を行うもの。

- (2)実習・演習等における企業等との連携内容
- ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
- ・企業担当者も直接学習指導に関わり、最先端分野であるCAD/CAMなどの説明や操作方法、審美的分野の知識や歯の 色調調整などの技術習得など、時代の変化に柔軟に対応し、高い実践力を身に付けた歯科技工士を育てる。
- ・企業連携については、効果的な授業運営となるよう実習前の事前打ち合わせを実施。
- ・終了後、レポート・制作物などにより業務連携先と総合的に評価し、更にそれを基に次年度に向けての検討を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
 		最先端技術であるCAD/CAMなど について、過去・現在・これからの 展望などを理解する。	株式会社 モリタ
图针汉二天日		色の概念などを理解するとともに 歯の色調調整などの技術を習得 する。	株式会社松風 札幌営業所

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教員は、学校法人吉田学園研修規定により、次に掲げる各研修を通し、現在就いている業務又は将来就くことが予想され る業務の遂行に必要な知識・技術・技能等を修得するとともに、その他その遂行に必要な能力・資質等の向上を図ることを 基本方針とする。

(研修の種類)

- •教育職研修会
- •階層別研修
- ・外部研修等(学会等を含む)

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

全国歯科技工士教育 全国歯科技工士教育協議会 専任教員研修会 I 研修名: 連携企業等:

協議会

対象: 立一 校教員 全国歯科技工士養成 期間: 令和6年8月6日7日

内容 光学印象の臨床技術を習得する

北海道歯科技工学術研修会 連携企業等: 北海道歯科技工士会 研修名:

対象: 北海道歯科技工士会 期間: 令和6年11月16日(webとのハイブリッド開催)

会員等

内容 歯の色彩

北海道歯科技工学術研修会 連携企業等: 北海道歯科技工士会 研修名:

対象: 北海道歯科技工士会 期間: 令和7年1月21日(対面形式)

会員等 内容 最適な補綴装置、材料の特性

②指導力の修得・向上のための研修等

全国歯科技工士教育 全国歯科技工士教育協議会 専任教員研修会 [研修名: 連携企業等:

協議会

全国歯科技工士養成 期間: 令和6年8月6日7日

内容 カリキュラムプランニング

AVINTONジャパン株 吉田学園専門学校教育研修会 連携企業等: 研修名:

式会社他

対象: 正職員・嘱託職員 期間: 令和7年8月8日

(3)研修等の計画

内容

①専攻分野における実務に関する研修等

全国歯科技工士教育 連携企業等: 全国歯科技工士教育協議会 専任教員研修会 I 研修名:

学生の多様化に的確に対応できる学生指導を目指す。

全国歯科技工士養成 対象: 一人校教員 期間: 令和7年8月20日

デジタル義歯 内容

北海道歯科技工学術研修会 連携企業等: 北海道歯科技工士会 研修名:

対象: 北海道歯科技工士会 期間:

令和7年11月16日(webとのハイブリッド開催) 会員等

歯の色彩 内容

連携企業等: 北海道歯科技工士会 研修名: 北海道歯科技工学術研修会

対象: 北海道歯科技工士会 会員等 期間: 令和8年1月17日(対面形式)

デジタル技工 内容

②指導力の修得・向上のための研修等

全国歯科技工士教育 研修名: 全国歯科技工士教育協議会 専任教員研修会 I 連携企業等:

協議会

対象: 全国歯科技工士養成 校教員 期間: 令和7年8月7日8日

カリキュラムプランニング 内容

吉田学園専門学校教育研修会 研修名:

連携企業等:

期間: 令和7年8月7日 対象: 正職員・嘱託職員

教育基軸の活用に向けた各専門学校の取り組みから、教育力の向上を図る。 内容

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価委員会は、学校が行った次の事項に対する自己点検・評価の結果に基づき評価を行い、学校は、当該委 員会においての意見・評価を、自己点検・評価の結果と共に真摯に受け止め、必要な改善に努めるとともに、学校運営や教 育実践力等の向上を図ることを基本方針とする。(評価項目)・教育理念・目標・学校運営・教育活動・学修成果・学 生支援・教育環境・学生の受け入れ募集・財務状況・法令等の遵守・社会貢献・地域貢献・国際交流等

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念·目標	①学校の理念・目的・育成する人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか) ②学校における職業教育の特色は何か ③社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか ④学校の理念・目的・育成する人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか ⑤学校の教育目標、育成する人材像は、学校に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか
(2)学校運営	①目的等に沿った運営方針が策定されているか ②運営方針に沿った事業計画が策定されているか ③運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されている か、有効に機能しているか ④人事、給与に関する規程等は整備されているか ⑤教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されている か ⑥業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されている か ⑦教育活動等に関する情報公開が適切になされているか ⑧情報システム化等による業務の効率化が図られているか

	·
(3)教育活動	①教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ②教育理念、育成する人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか ③学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか ④キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか ⑤関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか ⑤関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか ⑦授業評価の実施・評価体制はあるか ⑧職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか ⑨成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか ⑩資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか ① が着取目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか ② 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか ③ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか ④ 職員の能力開発のための研修等が行われているか
(4)学修成果	①就職率の向上が図られているか ②資格取得率の向上が図られているか ③退学率の低減が図られているか ④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか ⑤卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に 活用されているか
(5)学生支援	①進路・就職に関する支援体制は整備されているか ②学生相談に関する体制は整備されているか ③学生に対する経済的な支援体制は整備されているか ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか ⑥学生の生活環境への支援は行われているか ⑦保護者と適切に連携しているか ⑧卒業生への支援体制はあるか ⑨社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか ⑩高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取 組が行われているか
(6)教育環境	①施設・設備・図書は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ②学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか ③防災に対する体制は整備されているか
(7)学生の受入れ募集	①学生募集活動は、適正に行われているか ②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか ③納付金は妥当なものとなっているか
(8)財務	①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ③財務について会計監査が適正に行われている ④財務情報公開の体制整備はできているか
(9)法令等の遵守	①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか ③自己点検・評価の実施と問題点の改善を行っているか ④自己点検・評価結果を公開しているか

(10)社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか ③地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか
(11)国際交流	①留学生の受入れについて戦略を持って行っているか ②留学生の受入れ、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか ③留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか ④学習成果が国内外で評価される取組を行っているか

※(10)及び(11)については任意記載。

- (3)学校関係者評価結果の活用状況
- ・国家試験等合格実績について、臨床工学科が新卒で合格率が下がったこと、臨床検査学科は前年よりも合格率が上がっ たこと、救急救命学科の新卒者、視能訓練学科、歯科技工学科が100%合格、全学科全国平均は上回っていることの報告を
- ・就職実績について、臨床検査学科が昨年かなり病院での求人数が減っている状況であり、逆に救急救命学科は病院で働 く救急救命士が増えている関係で90%に近い就職内定率となっているを報告した。また、歯科技工学科・医療事務クラーク 学科は100%の就職内定率であることの報告を行った。
- ・教育力向上・学習環境整備の取り組みについて、今年度の教育研修に、8/9の吉田学園教育研修会と8/24の日本医療教 授システム学会を予定していることを報告した。続けて、前年度の取り組みとして委員会活動の活性化における5つの委員 会(①授業運営、②学生支援、③就職支援、④美化、⑤キャンパスプロデュース)の活動内容について報告し、昨年度から 実施している基礎カリサーチの効果的な利活用など、在籍率向上への取り組み事例として継続実施している報告を行っ

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
八若 保孝	1 11. VE Y I III III III III III III III III II	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	企業等役 員
松原 明勇	石狩北部地区消防事務組合 石狩消防署警 防課	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	卒業生
菊池 恒	札幌狸小路商店街振興組合 顧問	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	地域関係 者
小島 修二	札幌創成高等学校 校長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	他校校長

- ※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
- (例)企業等委員、PTA、卒業生等
- (5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

((ホームペーシ) 広報誌等の刊行物 ・ その他(

URL: https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/iryoshika/ 公表時期: 令和7年10月31日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に 関する情報を提供していること。」関係

))

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学科目的に掲げた職業人の育成には、学校関係者との信頼関係を築き、連携・協力体制の構築が必要不可欠であり、そ のために適切なツールにより、積極的な情報提供を行うことを基本方針とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	・学校の沿革・歴史 ・設立と教育目標、理念、教育方針 ・校長名、所在地、連絡先等
(2)各学科等の教育	・定員数、在学生数・カリキュラム(授業概要、授業時数等) ・進級・卒業要件等(成績評価基準、進級・卒業の認定基準等) ・学習の成果として取得を目指す資格等 ・卒業者数、卒業後の進路(主な就職先、就職者数、就職率等)
(3)教職員	·教員数
(4)キャリア教育・実践的職業教育	・就職支援等への取り組み状況 ・現場実習等の取り組み状況

(5)様々な教育活動・教育環境	・学校行事への取り組み状況 ・部活動の活動状況および実績 ・施設・設備等の教育環境
(6)学生の生活支援	・学生・生活指導への取り組み状況 ・カウンセリングの体制整備等に関する状況
(7)学生納付金·修学支援	・学生納付金の取扱い(学費・納入時期等)・活用できる修学支援の内容(奨学金、経済的支援等制度、貸付金の案内等)
(8)学校の財務	·事業報告書 ·貸借対照表 ·収支計算書 ·監査報告書
(9)学校評価	・自己点検・評価、学校関係者評価の結果 ・評価結果を踏まえた改善方策等
(10)国際連携の状況	特になし
	特になし
//a o \ T z i / a a \ l = o l , 一 l + l + 立 = 1 + +	

))

※(10)及び(11)については任意記載。
(3)情報提供方法
(ホームページ・広報誌等の刊行物
URL: https://yoshida
公表時期: 令和7年10月31 広報誌等の刊行物 ・ その他() https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/iryoshika/ 令和7年10月31日

授業科目等の概要

	(長	専門	課程	歯科技工学												
		分類	į						授	業プ		場	所	教	員	
	必修	択必	由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数		演習	実験・実習・実技		校外			企業等との連携
1	0			外国語(英 語)	歯科技工士として必要な英語を理解し、国 際的な情報を得ながら対応できる能力を培 う。	1 · 前	30	2	0			0			0	
2	0			歯科技工造形 学	歯科技工に必要な美的感覚(色彩・形態) を養う。	1 · 前	16	1		0		0		0	0	
3	0			コミュニケー ション学	医療従事者として必要な思考力を育て、豊かな人間性を養うと共に主体的な行動でき る態度を培う。		30	2	0			0			0	
4	0			関係法規	法の概念と体系、衛生行政を把握し、歯科 技工士として必要な法令について学ぶ。	1 • 後	16	1	0			0			0	
5	0			歯科技工学概 論	歯科医療と歯科技工の概念および倫理を学 ぶ。	1 • 前	30	2	0			0		0	0	
6	0			口腔解剖学	歯の概説・形態を十分に理解し、歯の発生、加齢、歯周、頭蓋の骨及び口腔周囲の筋について学ぶ。 また、顎関節の構造や下顎の運動について 学ぶ。	1	60	4	0			0			0	
7	0			口腔解剖学実 習 I	歯形彫刻実習の目的、使用器具・材料を理解し、デッサンや彫刻方法について習得し、各歯種における形態の特徴を学ぶ。		60	2			0	0		0		
8	0			口腔解剖学実 習 Ⅱ	各歯における形態の特徴をとらえ、再現で きる。	2 • 通	60	2			0	0		0		
9	0			顎口腔機能学	顎口腔系器官の構造と機能、下顎位および 下顎運動に関する生理学的知識について学 ぶ。		16	1	0			0			0	
10	0			歯科理工学	歯科技工に使用する材料の歯科理工学的性 質・安全性・品質検査及び歯科技工に必要 な機器の知識と加工技術を習得する。		70	4	0			0			0	
11	0			歯科理工学実 習	各種歯科材料の特徴を学ぶ。	1 • 前	110	3			0	0		0		
12	0			有床義歯技工 学	歯を失った場合、義歯を入れて、その機能・形態および審美性を回復し、全身の健康増進に間接的に寄与している。失われた歯の状態によって全部床義歯や部分床義歯に分類されるが、それぞれについての特徴、意義や目的などの理論と製作方法について学ぶ。	1 • 通	60	4	0			0			0	
13	0			有床義歯技工 学実習 I	有床義歯における各々の装置の特徴や製作 方法を学ぶ。	1 • 通	210	7			0	0		0		
14	0			有床義歯技工 学実習 Ⅱ	有床義歯における各々の装置の特徴や製作 方法を学ぶ。	2 · 前	90	3			0	0		0		

15	0		歯冠修復技工 学	有歯顎における歯の実質欠損と歯列の部分的欠如、ならびに咬合の不調和などに起因する形態異常および審美的障害など、歯の形態や機能の代わりをする修復物について学ぶ。	1	60	4	0			0			0	
16	0		歯冠修復技工 学実習 I	各種歯冠修復物の特徴や適応症および禁忌症などを理解し、それらの製作方法について学ぶ。		210	7			0	0		0		
17	0		歯冠修復技工 学実習 Ⅱ	基本形態にそって製作するだけでなく、吸合や審美性などを考慮しながら機能的な態 冠修復物の製作を学ぶ。		90	3			0	0		0		
18	0			歯や顎骨および口腔周囲筋などに対するさまざまな対処と治療が必要とされる矯正菌科を理解し、それぞれの装置について学ぶ。	il '	16	1	0			0			0	
19	0			矯正歯科技工の基礎および一般的な歯科矯 正装置の製作法を学ぶ。	2 · 前	30	1			0	0		0		
20	0			小児歯科治療の特色を理解し、技工操作に おいても小児の特徴を十分理解する。	1 · 後	16	1	0			0			0	
21	0		小児歯科技工 学実習	顎顔面の成長発育、歯の形態、咬合形態、機能などその年齢それぞれの特徴を把握し、小児に対して臨床で必要な技工操作を学ぶ。		30	1			0	0		0		
22	0		歯科技工実習	歯科技工に関する基礎的な知識と技術をも とに、臨床技工における新しい分野を学 ぶ。		240	8			0	0		0		0
23	0		CAD/CAM	CAD/CAMシステムを理解する。	2 · 通	60	2			0	0		0		
24	0		顎顔面補綴	口腔顎顔面領域の特徴や多彩や専門分野によるチーム医療を知る。	2 · 後	30	1			0	0		0		
25	0		総合歯科技工 学実習 I	自主製作活動を通して、自主的に取り組み、課題を自らの力で解決しようとする態度を養う。		60	2			0	0		0		
26	0		総合歯科技工 学実習 Ⅱ	自主製作により、自主性を養う。また、自 分の口腔内を理解する。	2 • 通	230	7			0	0		0		
27	0			各々テーマを決め専門分野の中から製作した作品について自ら学び研究する。	· 前	30	1		0		0		0		
		合	計	2	7 乖	4目				1960	単化	立 ()	単位	時間	引)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
教育課程の定めるところにより、修業年限以上在学し、教育指導計画 卒業要件:にしたがって授業科目を履修し、その成果が満足と認められたとき は、所定の会議の議を経て各学年の課程の修了又は卒業を認定する。	1 学年の学期区分	2 期
履修方法: 対面及び遠隔授業等により、学則別表に定める当該学年に認定された 授業科目の全てを履修しなくてはならない。	1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。